

沖縄県読書バリアフリー計画（概要）

– 沖縄県視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画 –

（計画期間：令和7年度～令和11年度）

沖縄県教育庁生涯学習振興課

▲ 主な課題

- ・ 公立図書館の読書支援機器（拡大読書器:9.5%, 音声読書器:4.8%)の設置率が低い
- ・ 学校図書館の電子書籍所蔵はごくわずか
- ・ 点訳・音訳ボランティアの高齢化
- ・ 関係機関（図書館・学校・福祉）の連携不足
- ・ 当事者への障害者サービスの周知不足



❖ 施策の方向性

・ 図書館の利用に係る体制の整備等（第9条関係）

図書館間（県立・市町村・学校・点字）の連携強化と相互貸借の促進
インクルーシブ教育のための学校図書館との連携

・ インターネットを利用したサービスの提供体制の強化（第10条関係）

「サピエ図書館」等インターネットサービスの活用推進

・ 情報の入手支援、情報通信技術の習得支援（第14条・15条関係）

拡大読書器や再生機等のICT習得に関する相談・支援

教育委員会指導主事らへの学習指導要領のICT活用推進の趣旨の周知

・ 製作人材・図書館サービス人材の育成等（第17条関係）

司書、司書教諭、ボランティア等の人材育成研修

■ 基本的な方針

1. アクセシブルな書籍等の普及と書籍提供の促進

著作権法に基づくアクセシブルな書籍等の製作
電子書籍活用によるアクセシブル化の促進



2. アクセシブルな書籍等の量と質の充実

アクセシブルな書籍・電子書籍の量と質の充実
図書館間の連携による効率的な提供と共有システムの構築

3. 視覚障害者等の個々のニーズに応じた読書環境の整備促進

視覚障害者等ニーズに応じた多様な書籍形態
個々の障害特性に合わせた最適な書籍提供
利用者との対話と専門性向上による環境整備

☒ 主な数値目標（R11年度末）

- ・ 県立図書館のアクセシブルな書籍受入冊数（年間） **129冊 → 150冊**
- ・ 公立図書館等における読書支援機器設置割合
(公立図書館) **71.5% → 80.0%**
- ・ 障害者サービスに関する周知活動回数 **年3回 → 年3回以上**
- ・ 読書バリアフリー研修参加者数（年間） **121人 → 150人**
- ・ 読書バリアフリー計画策定市町村数 **0 → 11市町村**